

(参考資料一式)

令和５年度春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」(第三者評価結果)

(資料３) 令和５年度春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」実施事業一覧

(資料４) 令和５年度春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」運営実績

(資料５) 令和５年度春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」(自己評価表)

令和６年１１月６日（水）に開催の「春日部市市民参加推進審議会」において実施されました、令和５年度春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」(第三者評価結果)に係る資料一式となっております。

令和６年７月１０日（水）に開催されました「春日部市市民活動センター運営協議会」をうけて、資料の構成や総括の視点等を反映させ、審議会に諮ったものです。

令和5年度 春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」第三者評価結果

センターの基本的な役割[春日部市市民活動センター運営方針 P9～]

- 市民活動推進のための総合的・中核的拠点
- 「新しい公共」の担い手を育成する拠点
- さまざまな担い手が協働する場をつくる拠点



市民活動センター「6つの機能」	「6つの機能」を実践するための 「4つのサービス」 (1) ひろめる (2) ささえる (3) つなげる (4) はたらく	成果に対する評価 (課題・改善すべき点)
① 市民活動の窓口、相談、支援機能	(1) 市民活動の啓発、推進に関する活動 (2) 団体立ち上げ支援 (2) 団体運営支援	市民活動を始める入口となる重要な機能であり、団体登録後の活動を支える大切な役割を有しているため、今後もさまざまな利用者からのニーズを把握しながら、継続的な支援の方策について検討してください。
② 情報収集、提供、発信機能	(1) 市民活動の啓発、推進に関する活動 (2) 広報活動支援	誰もが見やすいと感じるようなホームページのリニューアルは工夫が感じられます。既存利用団体以外への活用を促す方法を検討しながら、引き続き積極的な情報発信に努めてください。
③ 交流、ネットワーク機能	(3) 自発的な出会いと交流の推進	団体同士が交流するきっかけづくりとなる場の提供はしっかり行われているが、単発的に終了しているように見受けられます。自発的につながるきっかけ探しや施設外で活動している人との接点づくりの方法などを検討してください。
④ 活動拠点及び事務所緒機能	(2) 事務所機能の提供 (4) 公正かつ透明な施設の運営	会議やアンケート等により定期的、日常的に利用者の意見に耳を傾け、可能な範囲で迅速にセンター運営に反映できています。会議室の稼働率については、他の施設の利用実態・運営状況・対応状況も把握しながら、利用しやすい施設となるよう検討してください。
⑤ 市民活動に関する学習、研修機能	(1) 市民活動の啓発、推進に関する活動 (2) 活動実践の場の提供	周年記念イベント等を通じて、市民活動の啓発や活動実践の場の提供など、改善を加えながら取り組まれていることが月間イベント数の増加にもつながったと考えられます。引き続き、各団体のニーズに即した機能となるように努めてください。
⑥ マッチングと協働支援の機能	(3) コーディネート、協働の支援 (4) 市民活動の基盤整備	協働を促すイベント等の企画を通して、多様な主体による交流が図られています。協働の意義について再度確認をお願いするとともに、マッチング後の各団体の把握に努めてください。

総合評価（まとめ）

令和5年5月より新型コロナの感染症法上の位置付けが5類に移行したことに伴い、各種団体の活動も再開される中で、市民活動センター運営について、試行錯誤を繰り返しながらも、利用者の声に真摯に耳を傾け、予定していた事業を実施したことは評価できます。

総合振興計画の実施計画事業「市民活動センター運営事業」においては、「市民活動センターの登録団体数」を事業の成果指標としていますが、令和5年度実績は「450の目標値」に対して「473の実績」となっており、事業は順調に進捗しているとも言えます。団体の高齢化への対応や市民活動の新たな担い手の育成等は、持続可能な公益活動を進めていく拠点としての役割を果たす上で重要な課題です。交流ミーティングスペースを利用する学生などの若者に、市民活動センターの役割などを周知、啓発していくとともに、SNS等を使った働きかけなどの具体策を講じてください。

市民活動センターには、継続的な課題から、短期的に発生する課題など、求められる事柄は多岐にわたると思われませんが、利用者に寄り添いながら、最善の支援策を講じてください。今後においても、センターの基本的な役割を果たせる拠点となるよう、「6つの機能」と「4つのサービス」を意識した管理・運営に努めてください。

令和5年度 春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」実施事業一覧（1／2）

No	事業名	市民活動センター「6つ」の機能 ◎＝主に担う機能（1つ） ○＝相応に担う機能（複数可）						目的	実施状況／実施内容等		課題と今後の対応
		1 市民活動の窓口、相談、支援機能	2 情報収集・提供・発信機能	3 交流・ネットワーク機能	4 活動拠点及び事務所機能	5 市民活動に関する学習・研修機能	6 マッチングと協働支援の機能				
1	利用者会議		○	○	◎			利用者との意見交換の場をつくり、より使いやすいセンターを目指す。	第1回：5月10日／5月14日（参加者：14団体16名） 第2回：8月19日／8月23日（参加者：22団体23名） 第3回：11月4日／11月9日（参加者：7団体8名） 第4回：2月13日／2月17日（参加者：17団体19名）	センターからの事業説明に加え、6月から利用制限が解除された交流ミーティングスペースの使用方法をテーマとして参加者全員で意見を述べ合った。グループディスカッションの形をとることによって、参加団体間での交流を図る事を意識した。	【課題】 ・参加団体（参加者）が固定されている。 【今後の対応】 ・新規登録団体への参加を呼びかけていく。 ・開催日時の工夫やオンラインの活用にも取り組む。
2	協働を促す企画			○			◎	市民活動団体、企業、自治会などとの相互を促し協働のまちづくりを推進する。	1. 【団体間協働】「ぽぽらフェスティバル2023 実行委員会」 ・ぽぽらフェスティバル実施までに臨時会議も含めて12回実行委員会を開催 2. 春日部SDGsフォーラムへの参加、まちかどライブラリー実施 3. 【企業と市民活動団体】「ひろがるつながる社会貢献ワークショップ（9/22）」 ・21企業と27団体、66名が参加して企業とNPO法人等でワークショップを実施。 ・企業とNPO・市民活動団体がつながるきっかけとなり参加者から高評価を頂いた。 実施後に19の新たなつながりが生まれた。 4. 【自治会との協働】「藤が丘自治会リニューアルプロジェクト」 ・自治会会長と有志で構成する会議に継続的にアドバイザーが参加、若い世代の巻き込みと市民活動団体との協働を検討した。 5. 【市内の企業・活動団体との連携】「キッズイングリッシュスピーチコンテスト」 ・キッズイングリッシュスピーチコンテストに共催として参画。 事前ワークショップは開催したが本番は延期となった。（2024/5/11に実施）		【課題】 ・地域で活動する市民活動団体や企業、自治会、教育機関等、多様な主体同士の接点をつくることを意識した事業を展開したが、継続的な仕組みになっていない。 【今後の対応】 ・きっかけをつかった後のフォローアップも必要に応じて対応し一部事業の継続実施も視野に入れていく。
3	市民団体交流会			◎			○	登録団体がお互いを知り、連携する場や機会を提供。	・ぽぽらフェスティバルで、ガチャガチャトーク・カーレット大会を実施。 ・ゲーム要素を盛り込むことで参加団体同士が自然と会話できるように工夫した。 ・26団体、26名参加（4回実施）		【課題】 ・団体間の交流を深める事を目的とし、事前に各団体に参加回を割り振ることで参加を促進したが、ぽぽらフェスティバルの来場者対応のため不参加の団体も有った。 【今後の対応】 ・ぽぽらフェスティバルと別日での開催も含めて来期更なる工夫の検討する。
4	市民活動講座	○	○			◎		情報発信／団体運営SDGs推進など市民活動に役立つ各種講座を開講し市民活動の活性化につなげる。	コロナ禍を経て活動を再開する団体が多くなったため、あらためて情報発信や新しい仲間を増やすために役立つ内容を年間のテーマとして実施した。 ・6月7日／11日（2回開催） 『新ホームページ活用講座』（参加者：17名） ・9月9日 『新たな仲間を巻き込み強くあたたかい組織をつくる方法』（参加者：23名） ・1月27日 『シニアの居場所づくりとICT活用』（参加者：18名） ・2月25日 まちづくりシンポジウム『私が住みたい春日部』（参加者：27名）		【課題】 ・参加された方々には満足して頂けているが、もっと多くの方々に参加して頂きたい。 【今後の対応】 ・より多くの団体・参加者に参加してもらえるように、今以上に告知活動に力を入れていく。今後も広報かすかべやSNS等を活用し広報活動を強化する。
5	利用者アンケート				◎			センターへの評価や意見を収集するための書面アンケートを実施し公平透明な施設の運営を目指す。	令和5年度上期アンケート（2023年8月18日～9月17日） 【回答数：292件（紙回答239、Web回答53）】 令和5年度下期アンケート（2024年1月22日～2月21日） 【回答数：216件（紙回答143、Web回答73）】		【課題】 ・施設及び職員に関しての設問は継続して高い満足度を頂いているが、講座・イベントに関する設問で未記入の回答が多い傾向は変わらない。特に登録団体以外の利用者（大部分が交流ミーティングスペースを勉強場所として利用している10代の利用者）に未記入が目立った。 【今後の対応】 ・登録団体以外の利用者にも事業の案内等を積極的に実施していく。
6	相談事業	◎	○	○				アドバイザーを2名配置し、市民活動に関する様々な相談に対応、課題解決につなげる。	年間を通して、様々な相談に随時対応を継続して実施。 【2023年度の相談対応件数：117件】 相談内容は活動の始め方、地域で活動する団体の紹介や仲介、情報発信の方法などについてが多い。（※開館時間や利用方法等の一般的な問い合わせは除く）		【課題】 ・随時、様々な相談に対応可能な事があまり知られていない状況が有る。 【今後の対応】 ・相談事業の案内チラシを配架、ぽぽらのホームページのイベント情報にも記事として「無料相談日のご案内」を掲載した。案内は今後継続的に実施予定。

令和5年度 春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」実施事業一覧（2／2）

No	事業名	1	2	3	4	5	6	目的	実施状況／実施内容等	課題と今後の対応策
		市民活動の窓口、相談、支援機能	情報収集・提供・発信機能	交流・ネットワーク機能	活動拠点及び事務所機能	市民活動に関する学習・研修機能	マッチングと協働支援の機能			
7	運営パートナー制度	○			◎		○	利用者ニーズに合わせた運営パートナー業務の拡充と運営に協力してくれる市民の発掘。	印刷パートナー、ぽぽらだより編集パートナー、イベントーパートナーに分かれて活動継続 ・印刷パートナー：毎週水曜日、土曜日の印刷室利用者支援 ・編集パートナー：ぽぽらだよりの取材および記事作成、写真撮影等 ・イベントパートナー：利用者会議や市民活動講座の受付、ぽぽらフェスティバルのサポート対応 運営パートナー全体としての会合を予定通り年2回実施した。（7月26日/1月31日） （※2023年度登録運営パートナー：14）	【課題】 ・現状の活動を継続すると同時に、新たに協力して頂ける方々を増やして行く事も重要と考える。 【今後の対応】 ・折り紙展示やバルーン展示等で館内の装飾に協力頂いていた2名の方を新しく運営パートナーとして登録。運営パートナーの活動の様子を発信してゆくことで制度の認知も高めていく。
8	周年記念イベント「ぽぽらフェスティバル」	◎		○		○		12周年記念イベントを今年も実行委員会形式で開催し、幅広い世代の参加を促し、市民活動を推進する。	12月3日、4日の二日間にわたり、登録団体主体の各種イベントを実施。46団体が参加した。（59イベント）※参考：2日間来館者数 3,875名 フェスティバルの告知イベント、新たな取り組みとして11月25日にララガーデン春日部の野外ステージを活用してプレイイベントを実施した。	【課題】 ・3年ぶりに規制無しで集客して実施し、1階多目的ホールも活用した事により、盛り上がりのあるフェスティバルが実施出来たが、もっと多くの市民に見に来て頂けるように更なる工夫が必要との意見もあった。 【今後の対応】 ・広く市民に周知するため、来年はちらしの配布を広く行い、のぼり旗を設置する等、PR活動にもっと注力してゆく。
9	月間イベント	○	○			◎		パネル展示や会議室を活用したイベントを月間イベントとして推進し市民活動を支援する。	4月：春日部C工房 5月：タمامシの会 6月：ヒッポファミリークラブ 7月：カーレット春日部 8月：粕壁写真クラブ 9月：経営革新塾しよう会 10月：春日部C工房 11月：彩の国環境大学修了生の会 community For Z Line 2月：くーみん 埼玉中小企業家同友会東部支部 S-netサポーターズ 色々な活動団体に積極的に案内する事で、月間イベントが周知され、月間イベント活用団体が増加した。昨年度は年間で4イベントでしたが、今年は12イベントを実施した。	【課題】 ・制度を活用する団体はふえたが、まだまだ一部の団体しか活用していない。 【今後の対応】 ・月間イベントの利用規約に曖昧な部分が有った為、同一団体の年会利用回数等を明確に記載し再度各団体に案内した。 ・活動支援として登録団体に更に積極的にぽぽらを活用して頂けるように案内を継続し利用促進に注力してゆく。
10	情報発信	○	◎			○		継続的に情報を発信し、市民活動を広める活動を継続する。	・ぽぽらだより：4回／年発行（春号・夏号・秋号・冬号） ・facebook・X（旧Twitter）を活用し情報発信を継続的に実施 ・5月16日にホームページをリニューアル、使い方講座を実施、分かり易い使用方法説明書を作成する等で更なる利用促進を図っている。 ・6月からメールマガジンの配信を開始した。（購読者：73名、令和6年3月末時点）	【課題】 ・交流ミーティングスペースの利用制限が解除され、登録団体以外の方の来館（学生の来館）が増加しているが、市民活動には余り興味を持って頂けていない状況が有る。メールマガジンの購読登録者も依然として少ない状況である。 【今後の対応】 ・積極的にSNSやホームページなどで施設の使い方や市民活動に関する情報を継続的に配信していく。市民活動講座他、色々な場面でメールマガジンの購読者を募っていく。
11	モヤモヤカフェ	○		◎				身近で活動している市民をゲストに招き、ゆるやかな対話を通じて、地域の課題や活動に関心を向けてもらう。また、さまざまな形で活動する市民との出会いの場を提供する。	4月1日：出張モヤモヤカフェ（桜咲くかすかべ） 7月23日：つきぐるみ小島加奈子さん、紅雲堂書店石川貴雄さん 11月18日：NPO法人スコップ松永乃吏子さん、NPO法人earth tree加藤由紀子 1月20日：藤が丘自治会会長田辺晴彦さん、春日部ファミリー新聞大川原道之さん 2月25日：ゼロウエイスト心擦さん、野村美里さん 3月31日：鹿沼英雄さん、小山香織さん	【課題】 ・ゲストのお友達を紹介してもらいながら開催していたが、毎回ゲストの調整が難しくなっている。施設の外で活動しているさまざまな市民との接点づくりが課題となっている。 【今後の対応】 ・各所で活動しているさまざまな方に声掛けし接点を広げていく。
12	フィールドリサーチ団体訪問		○				◎	団体が活動する現場を訪問し、ヒアリングを通じて、センター運営や市民活動支援のニーズを把握する。	6月7日：NPO法人つきぐるみ訪問 7月30日：藤が丘自治会訪問 9月30日：赤沼香取神社（赤沼獅子舞） 10月31日：あんど暮らし訪問 2月28日：NPO法人スコップ訪問	・ヒアリング内容をスタッフ間で共有し、活動団体への理解や支援ニーズの把握に努めている。他の活動団体にとっても参考となる情報については、ぽぽらだよりやホームページで情報発信していく。

令和5年度 春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」運営実績

○会議室利用実績

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
来館者数	135,115人	133,976人	55,555人	56,748人	70,465人	101,159人
会議室使用人数	45,652人	46,257人	21,337人	26,503人	34,987人	41,775人
会議室稼働率	30.70%	33.00%	21.30%	25.60%	28.00%	30.80%

○その他施設利用状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
交流ミーティングスペース	3,567件	6,939件	1,280件	649件	1,526件	13,429件
共同事務室	335件	364件	65件	38件	183件	292件
キッズルーム	470件	577件	0件	0件	1件	228件
貸事務所	1件	2件	2件	1件	1件	0件

※R5年より
利用時間
2時間制

○市民活動センター登録団体数(年度末登録団体数)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録団体数	390団体	416団体	427団体	441団体	453団体	473団体

○市民活動センターホームページアクセス件数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
アクセス件数	42,050件	40,473件	28,480件	25,991件	28,174件	30,019件

○実施事業回数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
講座、セミナー実施回数	15回	19回	25回	28回	41回	46回
自主事業	8回	23回	8回	6回	10回	12回
計	23回	42回	33回	34回	51回	58回

令和 5 年度 春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」自己評価表

センターの基本的な役割[春日部市市民活動センター運営方針 P9～]

- 市民活動推進のための総合的・中核的拠点
- 「新しい公共」の担い手を育成する拠点
- さまざまな担い手が協働する場をつくる拠点



市民活動センター「6つの機能」	「6つの機能」を実践するための 「4つのサービス」 (1) ひろめる (2) ささえる (3) つなげる (4) はたらく	成果の説明
① 市民活動の窓口、相談、支援機能	(1) 市民活動の啓発、推進に関する活動 (2) 団体立ち上げ支援 (2) 団体運営支援	年間を通して専門的知見を有した2名のアドバイザーが適宜相談に対応し団体支援を実施しているが、相談後のフォローが出来ていないケースもあり、必要に応じて継続的な支援を促す仕組みが必要である。
② 情報収集、提供、発信機能	(1) 市民活動の啓発、推進に関する活動 (2) 広報活動支援	より見やすく使いやすいホームページにリニューアルした事で、閲覧者数のほか、情報配信件数も増加したが、利用団体が固定化しているため、さらなる工夫が必要である。
③ 交流、ネットワーク機能	(3) 自発的な出会いと交流の推進	団体交流会や利用者会議を通じて登録団体同士が交流するきっかけをつくりを図っているが、日常的にお互いの活動内容を知り合う機会が少ないため、今後は自発的につながるためのサポートが求められている。
④ 活動拠点及び事務所緒機能	(2) 事務所機能の提供 (4) 公正かつ透明な施設の運営	利用者会議や利用者アンケートを通じて、定期的に利用者の声を拾い、センターの運営に生かしているが、活動拠点としての貸事務所の利用がない状況が続いているため、引き続き団体のニーズ把握が必要である。
⑤ 市民活動に関する学習、研修機能	(1) 市民活動の啓発、推進に関する活動 (2) 活動実践の場の提供	周年記念イベントや月間イベント等で登録団体の活動の場を提供し、同時に市民への発信にも努めている。月間イベントには特に力を入れ、実施件数が昨年の4件から12件へと急増した。
⑥ マッチングと協働支援の機能	(3) コーディネート、協働の支援 (4) 市民活動の基盤整備	企業とNPO法人等でワークショップを実施し、市民活動団体と繋がるきっかけをつくり、19のマッチングができた。協働事業が継続的なものになるように、適切なフォローアップを行っていく。

総 括

令和5年度は、本格的に活動を再開する団体が増え、交流・ミーティングスペースの利用制限も解除されました。団体支援・施設運営の両面において、コロナ後のあり方を試行錯誤した1年となりました。市民活動の中核拠点として、再開の一步を踏み出しやすいような場の提供や、活動の成果を市民の皆様へ届けるための事業運営(月間イベント、周年記念イベント等)には特に力を注ぎました。また、セキュリティや見やすさの向上を目的にホームページのリニューアルを行い、市民活動の情報発信機能を強化しました。一方で、団体の高齢化への対応や市民活動の新たな活動世代の育成等については、必ずしも効果的な取り組みができていない現状であり、団体の支援ニーズに向き合いつつ、地域の課題をともに学び解決していけるような取り組みが必要です。次年度も引き続き利用者の皆様とともに協働の機会をつくるのが大切だと考えています。